

9-4 長距離自然歩道の概要

名称	位置	公園名	計画		整備(大阪府)		備考
			延長 km	延長 km	延長	事業費	
東海自然歩道	箕面市萩の茶屋 高槻市ボンボン山	明治の森 箕面 国定公園	本線	32.9km	千円	49,000 (45~48、4年度)	計画延長は明治の森高尾までの距離
			支線	2.6km			
ダイヤモンド トレール	香芝市竜鶴峯 和泉市横尾山	金剛生駒 国定公園	km	45	千円	46,700 (45~49年度)	奈良県 9 km
生駒縦走歩道	交野市くろんと園地 八尾市高安山	"	km	32	千円	29,457 (57、59、3年度)	奈良県 大阪府未整備3.8km

9-5 大阪府施設緑化基準

施設区		区分	緑化基準(緑被率)
公園	住区	公園	敷地面積のおおむね 30%以上
		都市	" " 40 "
緑地	公園	広域公園(森林を主とする広域公園を除く。)	" " 50 "
		森林を主とする広域公園	" " 90 "
教育	幼稚園・小・中・高校等	幼稚園	" " 20 "
		小学校	" " 30 "
社寺	古墳	社寺	" " 70 "
		古墳	" " 10 "
緑	道	緑道	" " 70 "
		水辺	" " 10 "
公共	行	公共施設	" " 20 "
		社会福祉・環境衛生施設	" " 30 "
住宅	一戸建(長屋建)住宅	住宅	" " 20 "
		共同住宅	" " 30 "
医療	工場	工場	" " 20 "
		医療施設	" " 30 "
埋	埋	埋	" " 30 "
		埋	" " 100% 20%以上

(注) (緑被率= 緑地地面積 / 敷地面積)

9-6 ビオトープの基本的な考え方

ビオトープの基本的な考え方

いきものにやさしい10か条

- ① 今ある自然を活かし、その改変は必要最少限にとどめる。
- ② 樹林地や水辺などからなる広がり多様性のある環境をつくる。
- ③ それぞれの生態域は緑地や水辺のベルトでつなぐ。
- ④ 林縁部や水際線など環境の変化する境界部(エコトーン)を大切にす。
- ⑤ 生態系の分断を避けるため、動物の移動経路を確保する。
- ⑥ 木材や石など自然素材の活用に努める。
- ⑦ 透水域を確保し、人工物の被覆は可能な限り分散させる。
- ⑧ 健全な表土を保全し、圃土層の活用を図る。
- ⑨ 緑地や水辺などを活用して動物の隠れ家や緩衝帯(バッファゾーン)をつくる。
- ⑩ 農薬や除草剤などに頼らず生態系のバランスを図る。

- ・広いほどよい
- ・変化に富んでいるほどよい
- ・連続性があるほどよい
- ・人為的な影響が小さいほどよい

多様ないきもの生息する空間(ビオトープ)

まちづくりへの適用